



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和4年度学校だより
No.9 10月号
令和4年9月30日(金)

今を変えれば未来が変わる

読書の秋 そして 遠足の秋!!

明日から10月です。前渡小には制服がないので衣替えもありませんが、月が変わることで、ここで一度、気持ちを切り替えてほしいところです。

それから、10月中には前期から後期に学期が変わります。これまで3学期制に馴染んで生活してきた皆さんにとっては、少し違和感を覚えるかも知れませんが、これが普通になっていくのでしょう。

10月7日には通知表を目にすることになります。小学生の成績は、基本的に3段階評価ですが、ただの数字と思わずに、少なくとも前の学年の時と比べて自分の成績がどう変わったのか、よく見つめさせてください。そして、特に反省すべきところ、自分の課題は何なのか、担任の先生の話をよく聞いて、後半戦の後期に力を注いでほしいと思っています。

前期終了日と後期開始日の間には三日しかありませんが、この期間に思いっきりと遊んで充電するもよし、気持ちを入れ替えて、令和四年度の後半戦に向けて、今年度の目標を見直すのもよしです。とにかくこの三日間の時間を無駄にせず、やるべきことと、やりたいことに力を注いでから、後期に突入しましょう。

あれほど暑かった夏も落ち着き、秋の気配が感じられる今日この頃となりました。朝晩はかなり涼しくなり、半袖では日によっては少し肌寒く感じられることもあります。季節の移り変わりに早めに備えて、衣服の調節をできるようにしましょう。

本校のKey Wordについては再三再四くり返し言ってきたので、最近では実にたくさんの小学生が覚えました。業間休みや昼休みに職員室まで足を運んで、『ま・え・わ・た・り』を覚えたので聞いてくださいと、児童がやってきます。合格をもらおうと実にうれしそうです。

多くの会社などで、朝礼のときに社訓などをぶつぶつと唱えて覚えさせることをやっている姿が思い浮かびますが、会社の目標も分からずに社員が勤めている、企業としての力は発揮できないかと思えます。まずは先生と児童みんながこのKey Wordだけは覚えて、同じ方向をむいて毎日の学校生活を送り、学校全体の底力を上げられればと考えています。

さて、前置きがかなり長くなりましたが、本校のめざす学校像は「黙って働き 読書に親しみ そして ときに歌を口ずさむ」学校です。とにかく一人でも多くの前小の児童に本の好きな人に育ってほしいと願っています。休み時間には幾人もの児童が図書室に本を借りにやってきました。また図書ボランティアの方々のおかげで、図書室の運営もとても順調です。また最近、本を約三百二十冊購入しました。その中には読みたいと思う本が何冊もあります。あまり活字が好きではない人もいるかもしれませんが、何か興味のあることでいいので、まずは一冊、そしてまた一冊と本を手にとって読んでほしいです。いつの日にか、読書が好きになったという人が一人でも増えてくれればと思っています。ということで、この十月は「読書の秋」です。一冊でも多くの本を読むことに挑戦してみましょう。



この欄の原稿を書いているのは、9月29日(木)です。1年生は、アクアワールド大洗へと出かけました。127名全員がそろって参加です。こんなうれしいことはありません。みんなで共通の思い出を共有することができました。お天気には恵まれましたが、思いのほか、外の気温は高かったようです。

引率の先生たちの話では、子どもたちはとても楽しかったようで、みんなはしゃぎすぎといってもいいくらいのテンションの高さだったようです。学校に戻ってきた1年生の表情は、充実感と喜びにあふれていました。

今日の1年生を皮切りに、前渡小の遠足シーズン、「遠足の秋」が到来しました。10月に入って後期になると、2・4・3・5・6年生の順番で、それぞれの目的地へと足を運びます。5年生は一泊での宿泊学習、最後の6年生は11月の中頃の日程です。準備をしっかりと、健康管理に気を配って、ほかの学年も元気に当日を迎えられるようにしてください。みんなそろっての学校行事、体験学習はかけがえのない機会です。思い出をながしかりの形にして残して、しっかりと身体の記憶に焼きつけてもらえればと思います。

前小の南側には、たくさんのサツマイモ畑が広がっています。元々この前渡小の学区、馬渡の地域周辺は、昔から「かんそいも」の盛んな地域です。いつの間にか「干しいも」が通称のようになった感もありますが、地元の人たちにとってはどちらの呼び方に愛着があるのでしょうか。ちなみに、「勝田全国マラソン」の参加賞(?)は「完走いも」、欲しいものが手に入る神社は「ほしいも神社」だそうです。

さて、前小まえのサツマイモ畑で珍しいものを見かけました。それがこの写真です。→ 一見するとアサガオのようにも見えますが、実はこれ、サツマイモの花です。調べると、サツマイモの花はヒルガオの一種だそうです。もしかしたら子どもの頃に見たことがあるのかもしれませんが、記憶にありません。インターネット上では「サツマイモの花は珍しい」とのことです。この前小だよりの発行日以後にまだ咲いているかどうかは分かりませんので、撮影し、ここに掲載した次第です。

前小を取り巻く環境は、想像を上回り、楽しい発見が次々とあります。

令和四年度 全国学力・学習状況調査の結果について ②

先月の前小だよりで、質問紙の全国的な調査結果についてお知らせしました。今月号では、本校の学力の結果について、概要をお知らせします。

| | 平均正答率(%) | | |
|----|----------|-----|-----------------------------|
| | 全国 | 茨城県 | 本校 |
| 国語 | 65.6 | 65 | 全国を 下回っている。 茨城県を 下回っている。 |
| 算数 | 63.2 | 62 | 全国を 下回っている。 茨城県を 下回っている。 |
| 理科 | 63.3 | 64 | 全国を 下回っている。 茨城県を 下回っている。 |

上表のとおり、3教科とも、全国、茨城県との比較で、平均正答率が下回る結果となりました。

全国・茨城県との結果で、特に課題が感じられたのは、

国語においては、

- ▼ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つける
- ▼ 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使う

算数においては

- ▼ 二つの数の最小公倍数を求める

理科においては

- ▼ カブトムシに関する提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ

でした。中学生になる前に、担任の先生とともに苦手分野の一つでも克服して、卒業できるようにしましょう。

野に咲く花の名前は？





前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に

Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって



1年生

1年生は生活科の授業で、虫探しを校庭で行いました。虫眼鏡を使用するのは2度目ですが、アリやチョウ、バッタを探し、熱心に観察していました。事前に家の庭や公園などで捕獲したカマキリやコオロギ、バッタ等を持ってきてくれた児童もたくさんいました。



2年生

2年生の学年花壇に、ウクライナから届いたひまわりの苗を植えたときの写真です。2年生を代表して、1組が植えました。夏休みにも背の高いヒマワリが校舎の前にそびえたっていました。果たしてこれからの季節、どこまで背丈が伸びるかとても楽しみです。



3年生

3年生の国語の授業です。「山小屋で三日間すごすなら」の学習で、タブレットのジャムボードというアプリを使って、意見交換を行いました。一人ひとりが、自分の思いを友達に伝えることが出来ました。



4年生

4年生は、理科の時間に、教室で発芽させた苗を、6月に校舎前の畑に植えかえました。タブレットを手に持って、大きく成長して、実もなったツルレイシを観察しています。まるで緑の回廊のようです。少し、幻想的な雰囲気にも包まれている感じがします。



5年生

5年生では、講師の先生に日立ハイテクの方をお招きして、電子顕微鏡の授業を行いました。小さな虫や葉の表面などを高倍率で見ることができました。初めて見るミクロの世界に、子どもたちは驚きながら楽しく学習することができました。



6年生

6年生の保健の授業の一場面です。がんや心臓病などの生活習慣病は、日頃の生活習慣によって引き起こされることを学習しました。病気を予防するために自分たちの生活を見直し、これからのようにしていったらよいのかを考え、お互いに話し合うことが出来ました。